

1人1人が自立へ向かって、光ろう！

# いっとうしょくぐう 一灯照陽

579人がみんなで光れば、

灯中はさらに輝く！

福井市灯明寺中学校 指導部通信

発行 福井市灯明寺中学校

1月 31日

生徒指導部

令和5年度 第15号

生徒指導部より

2月の生活目標

『□□□□□□□□□』

## ～自分でつくる PRIDE～

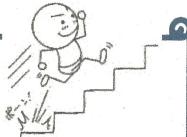
○進級・新生活に向けて、自分の生活目標を決め、達成しよう

1年生は【新入生中学校体験入学】【キャリア教育プログラム】、2年生は【立志式】【進路説明会】、3年生は【卒業後の進路選択】。もう少しでそれぞれの学年が、進路の意識を高めたり、新しいステージに進んだりします。新しい自分にドキドキ、ワクワクしましょう。新しいステージで、自分も仲間も笑顔で元気に過ごすために、今よりもう一段、成長できるといいですね。

今月の生活目標 PRIDE は、自分で設定しましょう！これまでの PRIDE も活用してもよいので、自分なりの目標を設定することで、PRIDE を主体的に「自分事」としてとらえ、自立への階段を一段上ってほしいと思います。

これまでの PRIDE は…

- 4月 「挨拶・会釈」
- 5月 「仲間と仲良く」
- 6月 「タイムマネジメント力を向上させよう」
- 7月 「爽やかな雰囲気をつくろう～着こなしと整理整頓～」
- 9月 「RESET～優先順位を考えて、切り替えできる集団へ～」
- 10月 「ふさわしい言葉を選ぼう～TPO と思いやりのある言葉～」
- 11月 「さらに高めようタイムマネジメント力」
- 12月 「いじめ・差別・SNS での人権侵害を撲滅しよう」
- 1月 「新しい気持ちで良い印象を～自分からあいさつ・整理整頓～」



## 安心・安全な学校にするために

ある生徒が「先生、階段の滑り止めが外れかけてます」と教えてくれました。もし教えてくれなかつたら、誰かが滑って転び、ケガをしたかもしれません。



★もし学校の設備や備品などが壊れているのを見つけたときは先生に知らせてください。また自分が壊してしまったときも、必ず先生に報告してください。形あるものはいつか壊れます。そのまま黙っていて、誰かがケガをする、迷惑するかもしれない環境の学校は、安心・安全な学校と言えません。

## ☆雪を碎いて ばらまき隊 募集中



灯中の玄関前には、除雪された力ちカチの雪山がうずたかく残っていました。そこで左の張り紙を玄関に貼ったら、3年女子が「先生、私もやる～」とすすんでばらまき隊員に。そうしたら、「私も！」「オレも！」…あっという間に雪山はなくなりました。生徒も先生もお客様も使う玄関前を広くしてくれました。すごく助かりました。灯中っていいね！

## 【先生のらくがき帳】

中学生は、特に3年生は進路の選択の時期…それはわかっているんだけど、進路を選ぶというのは大変なこと。これまで20年以上教員をやってきて、こう聞かれたことがあります。「いろんな道（高校など）があるけど、いったいどれが私にあった道なの？〈自分で選べ〉なんて言われたって…」。けど、そう言われるのは、先生たちにとっても、とても困ることなのです。なぜなら、そう簡単にわからない、答えられない問い合わせだからです。

…なぜって？ その疑問に答えるために、先生たちに「進路」についてのアンケートをお願いしました。「先生たちは自分自身の〈進路〉に関してどう考えていたのか？〈教師になろう〉ということを、いつ決めたのか？」などを聞いてみたのです。なかなか面白い結果が出てきました。→

## 【保健室から】 かくれ脱水に注意！

「脱水は夏に起こるもの」？ — いいえ！実は冬も要注意！— 空気が乾燥する

汗をかいていなくても、呼吸や皮膚からの蒸発などで体の水分は奪われています。空気が乾燥する冬は、こうした汗以外の形で水分が失われがちです。



水分補給をサボりがち

あまり汗をかかないため「水分補給しなきゃ」という気持ちが起りにくいうえに、手軽にとれる冷たい水は体が冷えてしまうので敬遠されがちです。しかし、人間の体に必要な水分量は冬でも同じです。

かくれ脱水にならないためには、喉が渴いたと思っていなくても、こまめに水分補給をするのがコツ。意識してみましょう。

このアンケートの結果を報告しながら、「進路を選ぶということ」について考えてみたいと思います。

#### ① 「いつ、〈教師になる〉と決心したか？」

先生たちに聞いた質問のひとつが、「いつ、〈教師になる〉と決心しましたか？」というものです。さあ、いつごろが多いと思いますか？「中学時代」という答えが多いのでしょうか？回答してくれた先生の中で、「中学時代から教師になりたかった」と答えた人は、どのくらいの割合でいるでしょう？

| 小学校 | 中学校 | 高校  | 大学  | 大卒後 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 8%  | 5%  | 16% | 64% | 7%  |

なんと「中学時代に決めた」という先生は5%！それに「小学時代に決めた」という先生が8%いますから、それでも、中学時代には教師になることを決めていた先生は「約1割」ということになります。集計しながら、あらためて「進路を選ぶって大変だな～。そんなにすぐ決まるもんじゃないんだ」と思ってしまいます。

#### ②先生たちが、中学時代になりたかった職業は？

では、先生たちが、中学時代になりたかった職業は何でしょう？

これは予想してもらうにも、あまりにさまざまなので、書いてあったものを、並べてみます。

- ・スポーツ関係
- ・プロ演奏家
- ・画家
- ・医者
- ・新聞記者
- ・教師
- ・サッカー選手
- ・プログラマー
- ・看護士
- ・小説家
- ・ツアーガイド
- ・法律家
- ・TVプロデューサー
- ・作詞家
- ・立派なお坊さん
- ・未来に希望が持てなかつたからなし

「教師になる」と決めたのはみんな遅いみたいですが、ばくぜんと「教師になりたい」と思っていた先生は多いようです。ばくぜんとしても「夢」を持ちつづけることの大切さを教わったような気になります。

それにしても、こう書いてみると、今みんなの状況とそんなに変わらないような気がしませんか。みんなと同じであった先生たちだからこそ、みんなが進路を決めていくうえでも、いろいろ自分の経験から役立つアドバイスもできるんだろうと思います。

#### ③なりたい職業はどう変わっていったか？

ところで、先生たちの希望は、先生になるまでどのように変わってきたのでしょうか。「それぞれの時代に何になりたいと思っていましたか？」と聞いてみた結果を紹介しましょう。これもさまざまで、一般的な例というのはむずかしいですね。何人かの先生の例を紹介してみましょう。　それぞれの時代での希望

<N校長先生>

小学校時代……大工

中学校時代……なし

高校時代……なし

大学時代……教師

<A先生>

小学校……スチュワーデス

中学……なし

高校……西武球場のウグイス嬢

大学……教師

<B先生>

小学……白血球・野球選手

中学……医者

高校……医者・中学社会教師

大学……中学社会教師

教師を辞めたら…カフェのマスター

<C先生>

小学……画家

中学……画家

高校……画家

大学……絵画を教える人

社会人…美術の教師

なんか、なかには一見、突然といった感じで「教師」という希望が出てきているのがおもしろいと思います。けど、誰だって「将来の職業＝あこがれ」みたいに思っていたものが、いつか現実と照らし合わせて希望するようになってくるものなのです。そのためにもいろんな可能性を考えながら、その時その時、自分で判断していってほしいと思います。

#### ●おわりに——「自分の進路は自分で決める」ということ

先生方の進路選択を見てみると、「人生のそれぞれの時で、なりたい職業は変わるものだ」と思います。「希望はいろいろあったけど、自分は最終的に教師という職業にたどりついた」という印象をもっている先生はかなりいそうです。「先のことはわからないものだ」と思ってしまいます。「あの人は〈これがいい〉って言ってたけど、ボクにはもっと自分にあった道があるんじゃないかな？」そう思うのは当然のこと。いや、そういう疑問を持たずに入生を過ごしていくのは、困難ともいえると思います。誰だって、「自分には何が一番あってるんだろう？」と悩んでいるのです。そういうことを考えるのは、立派に生きているように見える大人でも、正直言って、一度は必ず経験があるものだと思います。　そういうえば、先生たちにもう1つ質問をしてみました。

#### ④「〈生まれかわったらこの職業につきたい〉という職業はありますか？」

というもの。これが実にさまざままで、集計していくなんだか楽しくなってしまいました。出てきた職業を見てみましょうか。

- ・宇宙飛行士
- ・狩人(歌手ではなく)
- ・本に囲まれて暮らせる職業
- ・遺跡の発掘をする考古学者
- ・検察官
- ・もう一度教師を
- ・海外を飛び回るサラリーマン
- ・医者
- ・ツアーガイド
- ・ものづくり
- ・人をもてなす仕事

大人になっても、みんないろいろな夢を抱きながら暮らしているんですね。なにしろ職業というのは、「一度決めたから変更できない」などというものではありませんから。「転職して教師になった」という先生だって、決して少なくはありません。つまずいたりしながらも、「やりがいのある職業・楽しく仕事ができる職業」というのを、みんなも見つけていってもらいたいと願っています。

実際、「その学校・その職業が自分にあってるかどうか？」なんて、それに進んで見なければわからないものです。ましてや、他の人には決してわからない。それだからこそ、「そのとき、とりあえず自分で決めた」ということが大切だと思うのです。変わることもあるからこそ、他人が決めるのではなく、自分で決めることが大事だと思うのです。第一、「他人（それがたとえ両親や先生であっても）が決めた道を歩いていく」というのでは、元気が出ないと思いませんか。

選んだ進路（道）を歩いていくのは自分。誰かが変わってくれるなんてことはないですから。

いろんな職業に関しての興味・関心というのは一生のもの。そして、今、みんなはその出発点に立っているのです。そう思うと、なんかワクワクしてませんか？みんなが進路選択について考えることについて、学校中の先生が応援してくれています。頑張れ灯中生！

